

令和5年度 学校関係者評価

学校番号	77 定	学 校 名	浜松大平台高等学校（定時制）	記 載 者	清水 淳次
------	------	-------	----------------	-------	-------

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	<p>学習指導法の改善に取り組み、学力の充実を図る。</p>	<p>授業アンケートで「授業がわかる」率(R3-86%)、「授業が楽しい、充実している」と感じる率(R3-79%)を80%以上とする。</p> <p>研究授業を相互に参観する。 (1人3回以上)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果が満足いくものになりましたね。 ・相互参観やICT活用が素晴らしい成果を上げていると感じます。 ・「授業がわかる」が90%を、「楽しい、充実」が85%を超えていることは素晴らしい成果だと思います。授業の相互見学やICT機器の効果的活用など先生方の工夫の成果がうかがえます。 ・授業アンケートの「わかる」「楽しい」「充実している」で80%を超え、生徒さんたちの学ぶことへの気持ちがあることは、とてもうれしく思います。
ア	<p>望ましい勤労観を育成し、主体的に進路の実現に向かって努力できるようにする。</p>	<p>進路だよりを定期的に(年9回)発行する。 進路意識向上のために効果的な進路行事を企画する。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・Cラーニングの活用は素晴らしい。 ・外国にルーツを持つ生徒さんが増加する中、日本は教育に厚い国でありたい。 ・Cラーニング驚きました。更なる活用に期待します。 ・進路だよりによる情報提供は充実されているようでした。一方で「情報発信/提供」にとどまらないように、「望ましい勤労観」や「主体的な進路の実現」に向けた努力という目標を達成しているかどうかを効果的に把握できる指標があると良いと感じました。
イ	<p>基本的生活習慣を確立させるとともに、社会におけるルールやマナーを理解させる。</p>	<p>オープンキャンパスや職場見学に参加するなど、自らの進路決定に積極的に行動する生徒を増加させる。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しいことですが、自分に自信を持てるような手立て、自分の〇年後をイメージできるような手立てがあるといいですね。 ・進路が未決定の生徒、つまり上記の「…主体的に進路の実現に向かって努力できる」ところに至る前段階の生徒さんの支援ということで大切だと思います。キャリ

					<p>アカウンセリング等、何かしらの策を取られているのでしょうか？</p>
		<p>遅刻に対する共通理解のもと、学校全体で遅刻指導をし、基本的な生活習慣の改善を図る。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいですね。自分も考えてみたいと思います。 ・10分の遅刻で欠課」としたことで遅刻者が減ったと記載がありましたが、「厳しくすれば遅刻しない」ということなのでしょう。 (大学生も厳しくするときちんとするので、恐らくそういう生徒さんは多いと思います) ただ、ルールで縛って遅刻しないようにするのは全く主体的ではないので避けたいですね。基本的な生活習慣を主体的に整える人にどう育てるか、とても悩ましいところだと思います。 ・常習的な遅刻→「10分の遅刻で欠課」は納得できます。社会に出る前に厳しくした方が良いでしょう。
		<p>授業や行事などあらゆる機会を通じて指導する。ネットトラブルの重大性を認識させ、未然に防ぐ。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルがなかったのは何よりです。 ・ネットトラブルについて考える機会(講座等)があると良いのでしょうか。 ・ネットトラブルは大きな問題になりかねず、ネットモラル教育は重要だと思います。どんな教育がなされているのでしょうか？実際に起きた事件から学ぶなど、身近な事例に沢山触れさせるような講話などが良いのでしょうか。
		<p>部活動入部率 30%以上を目指す。全国大会出場部活動数 7以上、上位入賞 5以上を目指す。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・優位感が多様化する中で新しい部活の在り方も考えたい。 ・全日制と同じく、活動自体の充実度を高めていってください。 ・部活動加入率が 22%と目標よりも低いですが、活躍している生徒さんは確実にいらっしゃいます。そこは評価できると思います。 <p>中学の部活動の扱いも変わってきましたし、長いスパンで見ると部活動に割く力は徐々に下火になっていくような印象を受けます。</p>

		校内での挨拶を励行し、挨拶する習慣を身につけさせる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続は力、引き続きあいさつ励行を進めてください。 ・見学にうかがった際に拝見した限りでは、生徒さんはしっかり挨拶してくださいましたのでAとしました。 ・毎日の生活の中で挨拶は大切なこと。
ウ	個々の生徒に応じた支援を行い、円滑に学校生活を送ることができるようにする。	<p>SCやSSWなどの専門家、外部機関、校内関係者がチームを作り、連携して支援する。</p> <p>支援を必要とする生徒についての情報共有や事例検討の会を10回以上実施する。また、特別支援教育に関する校内研修を実施する。</p> <p>いじめの事前防止、早期発見、対処のために、基本的な方針に基づき組織的に対応する。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施、素晴らしいと思います。 ・特別な支援が必要な生徒は今後更に増えていくと思います。事例研究的な研修が今後益々必要になってくると思います。 ・生徒さんがかかえるさまざまな課題について、きめ細やかな対応をなさっていると思います。
エ	読書指導により、読書量の増大、質の向上に努める。	<p>読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握する。生徒からのリクエストを選書に反映する。新着図書案内を発行し、読書意欲を喚起する。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにより生徒の声を聞くのはとても良いと思いました。 ・ニーズ把握とそれに応じた選書は読書習慣のある生徒にはありがたいと思います。ただ、読書に関心がない生徒の読書意欲喚起の方策としては、図書案内は効果的なのでしょうか。（本に無関心な生徒さんは読書案内に目を通すのでしょうか。）
	自分の意見を表現する機会を増やす。	ワークシートへの記入やペア活動・グループ活動を行う授業を増やす。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中での様々な協働場面の在り方について、研修を深めてほしいと思います。 ・協働的な学びのなかで意見を表現する機会が増えるのは好ましいと思います。社会に出てからも役立つと思いますのでキャリア教育にもかかわるちからが身につくと感じました。
オ	安全・安心に対する意識を高めるとともに、教育環境の整備に努める。	交通安全教室を実施するだけでなく、日常的に交通安全指導をする。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の指導にも限界がおりだだと思います。事故の悲惨さや周りの人々の思いなど学べる機会があるといいです(全日制のよう

		重大事故ゼロをめざす。また、総事故件数を前年度より減少させる。			な) ・重大事故はなかったということでしたので良かったです。事故といっても生徒さんに非があることばかりではないかと思いますが、小さな事故の原因分析を踏まえてどんな事故が多いか、それを防ぐ手立て、などがうかがえると良いかと思いました。
		健診の受診率を100%にする。 朝食摂取調査等を実施し、関係者間で情報共有をし、有効に活用する。 保健だよりを定期的に発行する。	A	A	・受診率は100%ではないのですか。 ・健康診断受診率は長期欠席の生徒をのぞきほぼ達成とのことを評価します。朝食摂取率が64%というのは課題とも思えますが、たとえば夜間定時制の生徒さんは生活リズムの都合で朝食を摂るのが困難な面もあるのでしょうか。
		危機管理マニュアルを定期的に見直す。実践的な防災訓練を実施する。	A	A	・訓練をできるだけ行う。 ・実践的な防災訓練ができたのは良かったです。 ・学年ごとの防災訓練の実施、良いと思います。体験することで身近に感じると思います。
		保健課の安全点検、職員安全衛生委員会の職場巡視を実施し、迅速に修繕や対応をする。 PFI担当者や外部の施設利用者との連絡を密にする。	A	A	・点検結果や指摘に対して迅速に対応できたとのこと、評価します。
カ	単位制による定時制の課程特有の諸制度を活用し、魅力的な学習環境を整える。	教育課程等を見直し、改善する。 生徒個々の進路希望、興味、関心に応じた適切な履修指導を行う。	A	A	・できるだけ一人一人に寄り添った履修指導を行っていただきたいです。 ・新旧混在の時間割は作成した方も、先生方も混乱しなかなか大変であったかと思います。次年度までは新旧平行で開講されることですのでスムーズに移行が果たされることをお祈りします。
	魅力的な学習環境を積極的に広報する。	ホームページの内容を充実させ、更新回数を増やす。 学校説明会や個別学校見学等できめ細かな対応をする。	A	A	・ホームページは大切。子供たちも良く見て情報収集している。 ・HP大変ですね。お察しします。担当の方ありがとうございます。 ・ホームページは十分に充実した内容で更新もしっかりされてい

					ると評価しました。
キ	本校の教育活動に関する情報を的確に発信することで、保護者や地域からの信頼を得る。	「桑の木だより」を年2回発行する。 外国人保護者に対して翻訳、通訳などの配慮をして本校教育の理解を得る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信がなされていると思いました。 ・多言語に対応してくれる事は、保護者にとっては、コミュニケーションをとる上で安心だと思います。 ・定時制の学校見学会は盛況でしたね。多様な学び方へのニーズも高まっているのだと思います。大平台高校の意義は地域にも十分周知されていると思いますが、中学校教員に対する周知も含め情報を発信し続けることは大切ですね。
ク	事務部及び教務部との連携を一層強化し、充実した教育活動が行われるための環境を整える。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。節約した予算を教育活動に振り分ける。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰により様々な学校で経費削減の苦勞をうかがいます。教育活動に振り分けるために節約されることは大変評価しますが、先生方や生徒さんの不便に繋がらない範囲でどうにか物価高騰が収まってほしいものです。
	職員のワークライフバランスを改善する。	月間の時間外勤務80時間以上の職員をゼロにする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・80時間超なし、さすがです。 ・目標どおり、時間外勤務が80時間以上/月の職員はゼロであったとのこと、高く評価しました。ゆたかな教育をするにはそれにかかわる人たちの心の余裕も必須だと思っています。